



# iR 宛先表編集ツール 操作説明書

本ツールは iR 専用アドレスブックファイル（ABK ファイル）、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイル（WAB ファイル）を読み込み、データを編集、加工後、iR 専用アドレスブックファイルとして出力する機能を持ちます。

## 1 インストール・概要・起動

インストール  
iR 宛先表編集ツール概要  
起動

## 2 データの取り込み

新規作成 [開く] と [追加インポート]	Windows アドレス帳ファイルの取り込み 読み込み時のエラーチェック内容
iR 専用アドレスブックファイルの取り込み CSV ファイルの取り込み	結果ダイアログ表示 ログファイル

## 3 宛先データ 追加・編集・削除

追加・編集 各宛先 詳細ダイアログボックス 保存	標準設定 検索と置換
--------------------------------	---------------

# 目 次

<b>1. インストール・概要・起動</b> .....	<b>4</b>
1.1 インストール .....	5
1.1.1 インストールの前提条件 .....	5
1.1.2 インストールの実行 .....	5
1.2 iR 宛先表編集ツール概要 .....	6
1.3 起動 .....	7
1.3.1 起動時の画面 .....	7
1.3.2 メニューバー .....	8
1.3.3 ツールバー .....	9
<b>2. データの取り込み</b> .....	<b>10</b>
2.1 新規作成 .....	11
2.2 [開く] と [追加インポート] .....	12
2.3 iR 専用アドレスブックファイルの取り込み .....	13
2.4 CSV ファイルの取り込み .....	17
2.5 Windows アドレス帳ファイルの取り込み .....	23
2.6 読み込み時のエラーチェック内容 .....	30
2.7 結果ダイアログ表示 .....	31
2.8 ログファイル .....	32
<b>3. 宛先データ 追加・編集・削除</b> .....	<b>33</b>
3.1 追加・編集 .....	36
3.2 各宛先 詳細ダイアログボックス .....	38
グループの追加・編集 .....	44
3.3 保存 .....	47
3.4 標準設定 .....	48
3.4.1 [標準機種選択] .....	48
3.4.2 宛先のデフォルト設定 .....	49
3.4.3 [標準その他設定] .....	50
3.5 検索と置換 .....	51
3.5.1 検索 .....	51
3.5.2 置換 .....	51

**【商標について】**

- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- ・ 本製品は、VS-FlexGrid Pro を使用しています。VS-FlexGrid Pro の著作権は、VideoSoft Corporation に帰属します。
- ・ その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

**【呼称について】**

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版を Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Windows® Operating System 日本語版を Windows と表記しています。

# 1

## インストール・概要・起動

## 1.1 インストール

### 1.1.1 インストールの前提条件

本ツールは以下の環境の動作を前提条件とします。

ハードウェア	IBM PC 機 / その互換機 Pentium II 以上のプロセッサを搭載したコンピュータ 32MB 以上 (64MB 以上を推奨) のメモリ 800 × 600 ドット以上 (1024 × 768 ドット以上を推奨)、 256 色以上のディスプレイ インストール時 100MB 以上の空き容量のあるハードディスク
動作 OS	Windows 2000 日本語版 (Service Pack4 以降) Windows XP 日本語版 (Service Pack2 以降) ※ Internet Explorer 5.5 SP2 以降がインストールされていること
対象 iR	Color imageRUNNER iR CXX80 シリーズ imageRUNNER iR 3XXX/50XX シリーズ

### 1.1.2 インストールの実行

#### 1. Windows を起動します

Administrator の権限を持つユーザでログインする必要があります。  
旧バージョンがすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから作業を始めてください。

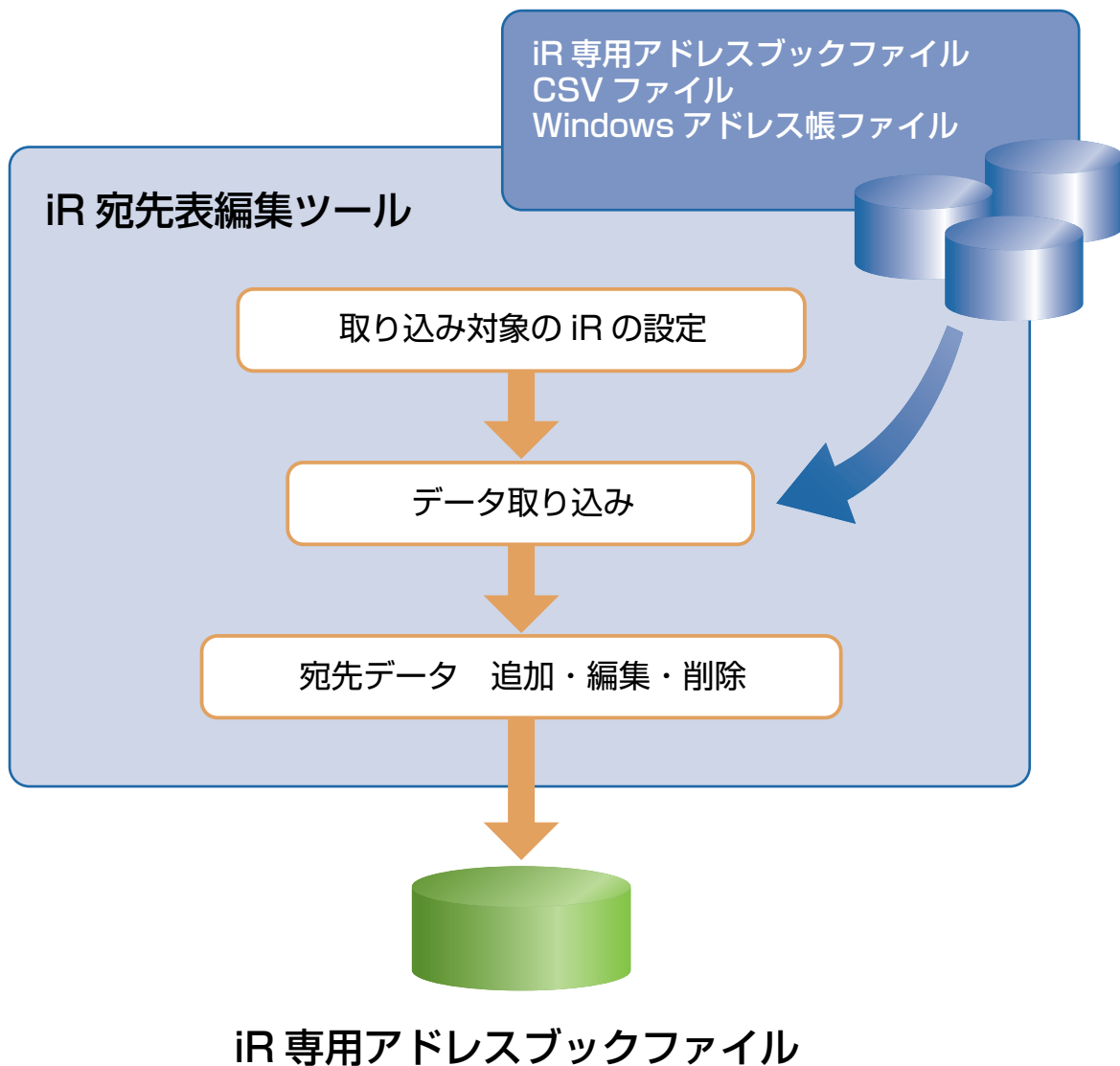
#### 2. インストールディスク内の「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックしてください

#### 3. 画面に表示されるメッセージに従って、インストールを進めてください

## 1.2 iR 宛先表編集ツール概要

本ツールは iR 専用アドレスブックファイル (ABK ファイル)、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイル (WAB ファイル) を読み込み、データを編集、加工後、iR 専用アドレスブックファイルとして出力する機能を持ちます。

本ツールは以下のような流れになっています。



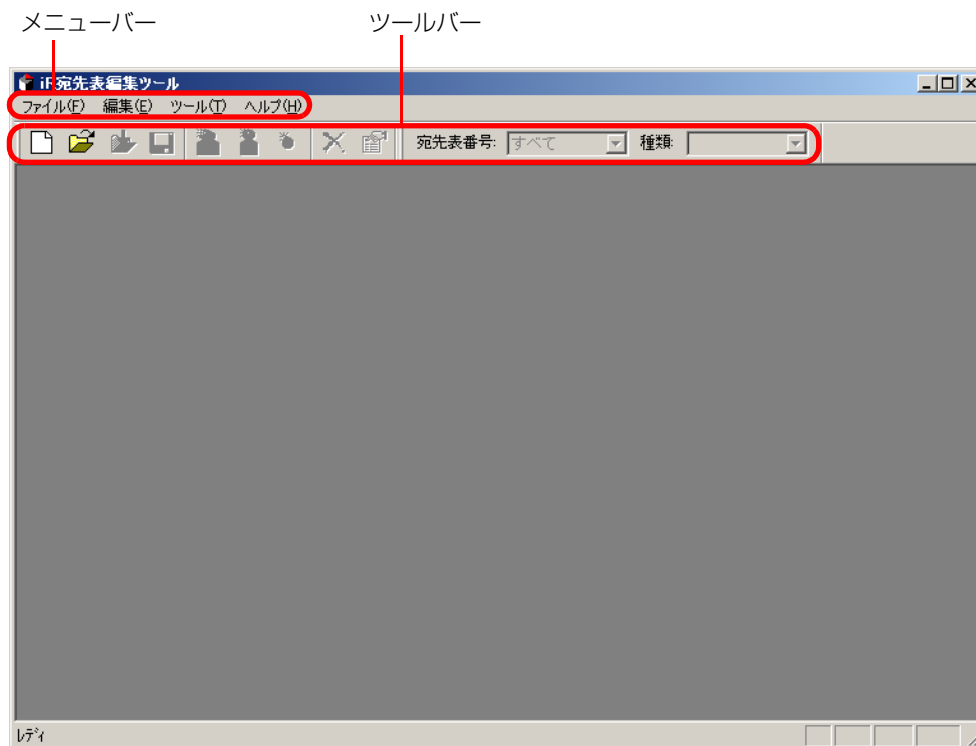
×モ) iR 専用アドレスブックファイルとは、iR のリモート UI の専用フォーマットでインポート/エクスポートする際のファイル形式です。

## 1.3 起動

### 1.3.1 起動時の画面

タスクバーの [スタートボタン] をクリックして、[プログラム] - [Canon iR 宛先表編集ツール] - [Canon iR 宛先表編集ツール] を選択します。

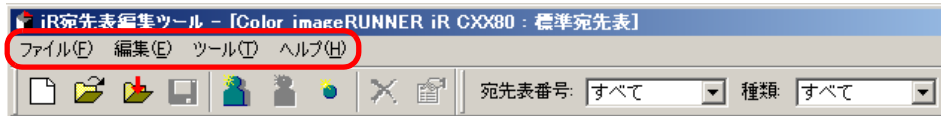
iR 宛先表編集ツールが起動して、メイン画面が表示されます。



この状態で、有効なメニューは【ファイル】[新規作成] [開く] [最近使ったファイル] [終了]、【ツール】 [ツールバー] [標準設定]、【ヘルプ】 [バージョン情報] のみです。

## インストール・概要・起動 ……起動

## 1.3.2 メニューバー



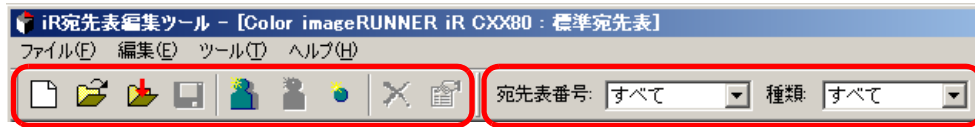
## メニュー一覧

ファイル (F)	
新規作成 (N)	新規の iR 専用アドレスブックファイルを作成します。
開く (O)	既存の iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを開き、編集可能画面を表示します。
閉じる (C)	編集中の宛先を閉じます。
追加インポート (I)	既存の iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを開き、編集中の画面に追加表示します。
上書き保存 (S)	iR 専用アドレスブックファイルを開いていた場合のみ、上書き保存されます。
名前を付けて保存 (A)	iR 専用アドレスブックファイルを作成します。
最近使ったファイル	以前に開いたファイルの履歴を最大4つまで表示します。
終了 (X)	アプリケーションを終了します。
編集 (E)	
元に戻す (U)	直前に行った文字の編集動作を元に戻します。
切り取り (X)	編集中の文字を切り取り、クリップボードに記憶します。
コピー (C)	編集中の文字をコピーして、クリップボードに記憶します。
貼り付け (V)	クリップボードのデータを貼り付けます。
検索 (E)	検索ダイアログを表示し、検索文字をメインビューの上から検索を行います。
置換 (H)	置換ダイアログを表示し、検索文字をメインビューの上から検索を行い、置換後の文字に置き換えます。
ツール (T)	
ツールバー (B)	標準ツールバー (I)：標準ツールバーの表示、非表示を切り替えます。
	宛先ツールバー (A)：宛先ツールバーの表示、非表示を切り替えます。
新規グループ (G)	グループダイアログを表示します。(機種によっては無効になります)
新規個人 (N)	無効です。
新規宛先 (A)	宛先種類ダイアログを表示します。
エラーチェック (E)	宛先の入力項目のチェックを行います。
標準設定 (D)	機種選択時、新規宛先作成時のデフォルト設定を行います。
ヘルプ (H)	
バージョン情報 (A)	バージョン情報を表示します。



インストール・概要・起動 ……起動

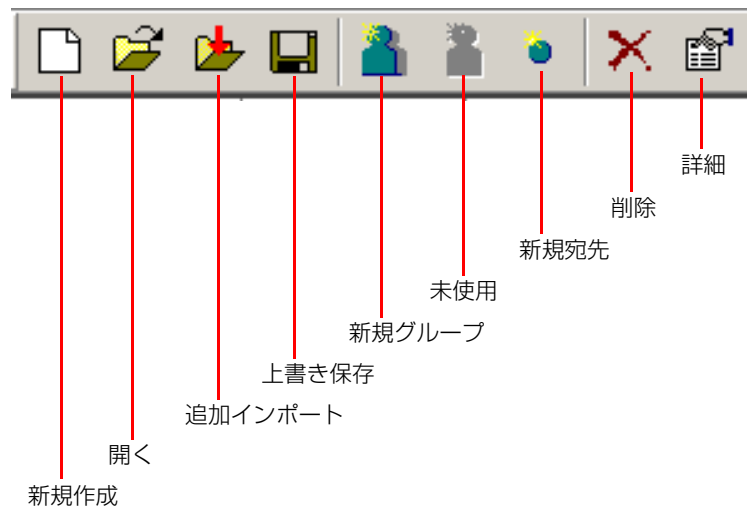
## 1.3.3 ツールバー



標準ツールバー

宛先ツールバー

## 標準ツールバー



## 宛先ツールバー



宛先表 1～宛先表 10 を選択する  
コンボボックス  
選択した宛先データのみを画面に  
表示します。

宛先の種類を選択するコンボボックス  
選択した宛先データのみを画面に  
表示します。

## 2

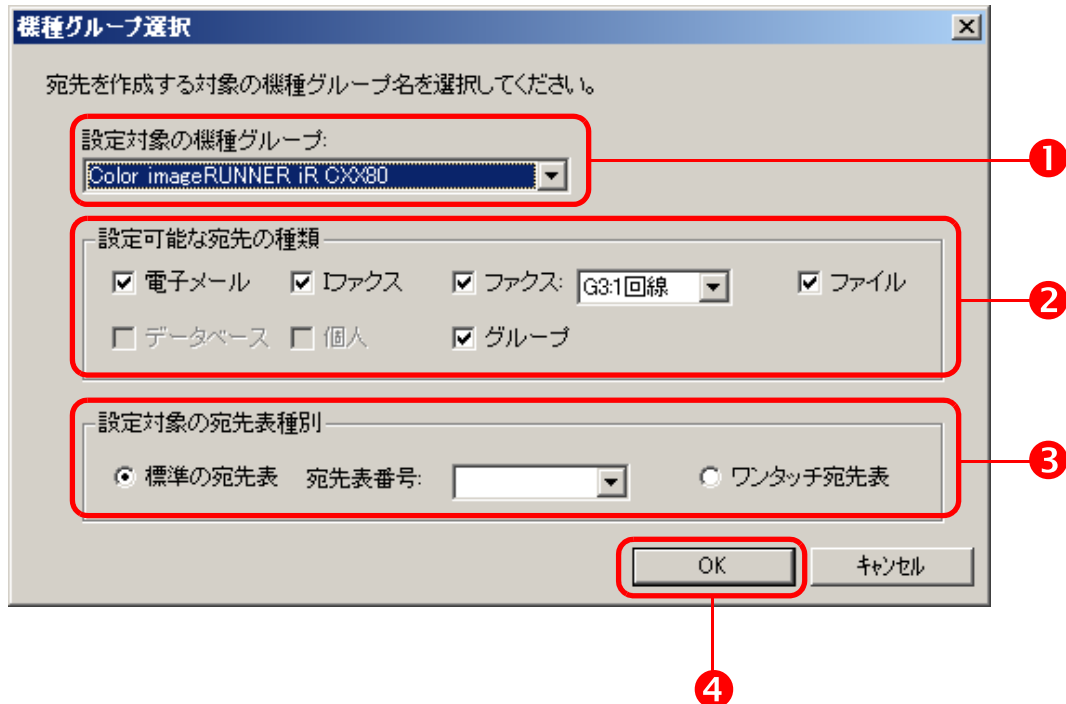
## データの取り込み

既存の iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを本ツールに取り込みます。

## 2.1 新規作成

[ファイル] → [新規作成] または、ツールバーの [新規作成] を選択すると以下の画面が表示されます。

ここでは、新規に iR 専用アドレスブックファイルを作成するために、設定対象となる iR の機種や宛先の種類、宛先表の種別を選択します。



### ① [設定対象の機種]

宛先を保存する機種を選択します。

### ② [設定可能な宛先の種類]

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

### ③ [設定対象の宛先表の種別]

選択された機種によって、選択できる [宛先表の種別] が変わります。対応していない宛先表の種別は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

### ④ [OK]

[設定可能な宛先の種類] が1つ以上選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

データの取り込み …… [開く] と [追加インポート]

## 2.2 [開く] と [追加インポート]

### [開く]

現在、編集集中のファイルがある場合は、閉じてから実行されます。

ファイル選択ダイアログボックスを表示して、既存の iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを指定します。ファイル選択後、設定対象の機種、有効な宛先の種類、宛先表の種別（標準、ワンタッチ）を設定することで、ファイルデータを元に選択した機種の宛先データを作成します。

### [追加インポート]

現在、編集集中の画面（[開く] または [新規作成] 実行後）に追加で宛先の取り込みができます。

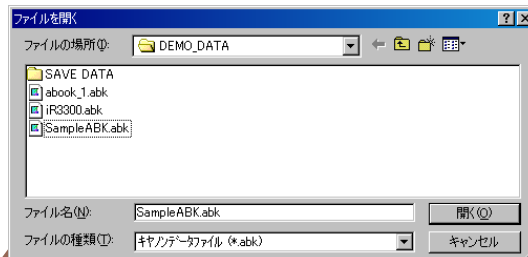
ファイル選択ダイアログボックスを表示して、既存の iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを指定します。ファイル選択後、現在編集集中の画面に追加でデータの取り込みができます。

データの取り込み ……iR 専用アドレスブックファイルの取り込み

## 2.3 iR 専用アドレスブックファイルの取り込み

iR 専用アドレスブックファイルのデータ取り込み処理の流れ

### 1. ファイルを開く

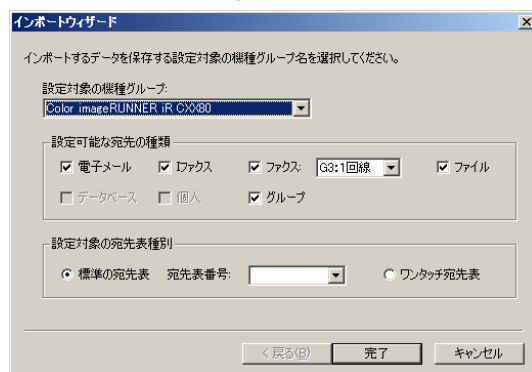


【開く】

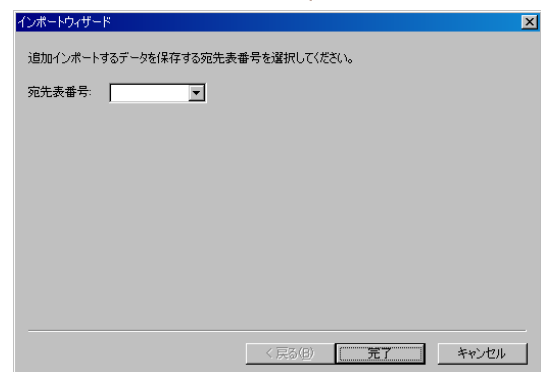
【追加インポート】

【追加インポート】

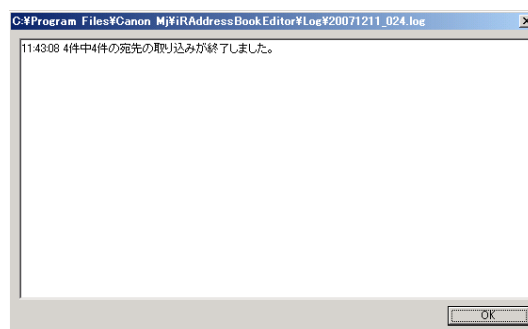
### 2. ウィザード a



### 2. ウィザード b



### 取り込み結果ダイアログ

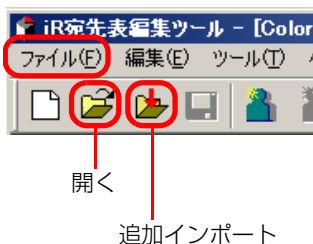


#### 【iR 専用アドレスブックファイルについて】

iR のリモート UI の専用フォーマットでエクスポートされたファイルのことです。  
拡張子は .abk になります。

メモ) iR からエクスポート時にパスワードを暗号化してエクスポートしたファイルは  
取り込みできません。

## データの取り込み ……iR 専用アドレスブックファイルの取り込み



## 1. ファイルを開く

新規に宛先を作成する場合：

[ファイル] → [開く] または、ツールバーの [開く] を選択します。

→ [開く] 選択時：

2. ウィザード a を参照してください。

現在編集画面に宛先を追加したい場合：

[ファイル] → [追加インポート] または、ツールバーの [追加インポート] を選択します。

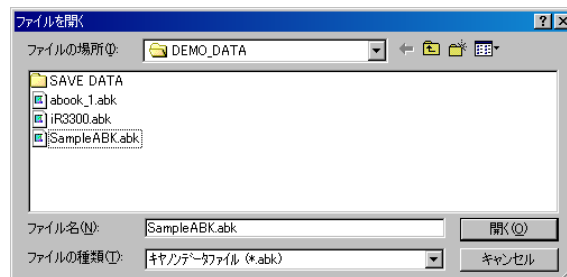
→ [追加インポート] 選択時：

取り込み先が標準の宛先表の場合、2. ウィザード b を参照してください。

取り込み先がワンタッチ宛先表の場合、取り込み結果ダイアログが表示されます。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

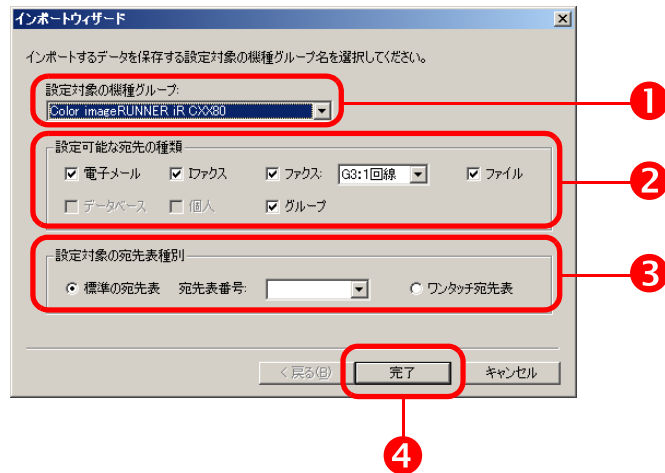
ファイルリストからファイルを選択し、[開く] を押すと、ウィザード画面が表示されます。



## データの取り込み ……iR 専用アドレスブックファイルの取り込み

## 2. ウィザード a

ここでは、iR 専用アドレスブックファイルの宛先表を作成するために、その対象となる機種を選択し、宛先の種類、宛先表の種類を選択します。



## ① 【設定対象の機種】

宛先を保存する機種を選択します。

## ② 【設定可能な宛先の種類】

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

## ③ 【設定対象の宛先表の種類】

選択された機種によって、選択できる [宛先表の種類] が変わります。対応していない宛先表の種類は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

## ④ 【完了】

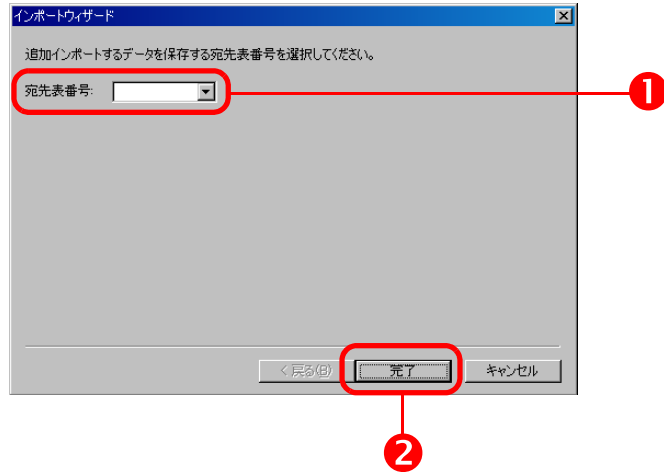
データの取り込み処理を実行します。(選択した宛先の種類のみ取り込みます。)

## データの取り込み ……iR 専用アドレスブックファイルの取り込み

**2. ウィザード b**

ここでは、標準の宛先表選択時に追加で設定したい宛先表番号を選択します。

ここで選択した宛先表番号に、取込んだ iR 専用アドレスブックファイルのデータを追加します。

**① [宛先表番号]**

データを追加保存したい宛先表番号を選択します。

**② [完了]**

データの取り込みを実行します。

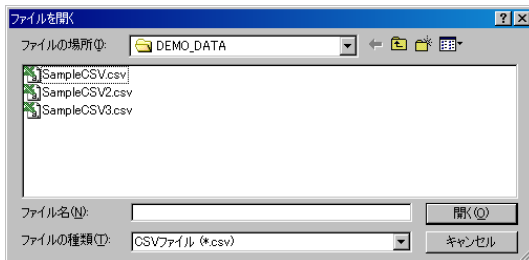


## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み

## 2.4 CSV ファイルの取り込み

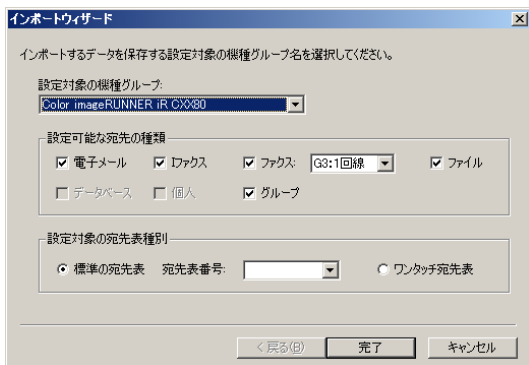
CSV ファイルのデータ取り込み処理の流れ

## 1. ファイルを開く



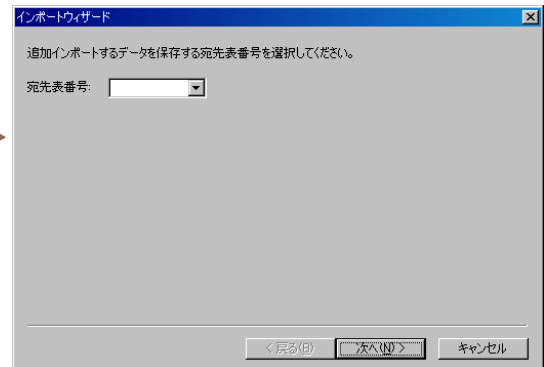
[開く]

## 2. ウィザード 1-a

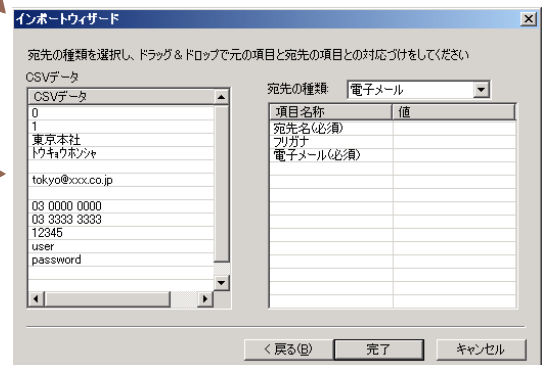


[追加インポート]

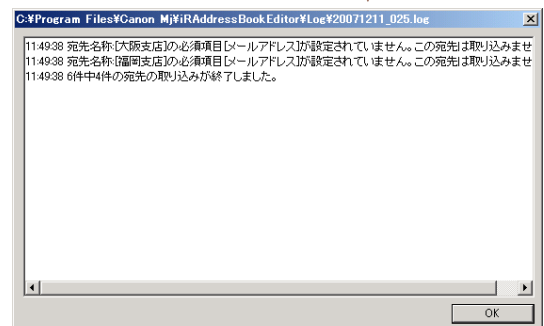
## 2. ウィザード 1-b



## 3. ウィザード 2



## 取り込み結果ダイアログ

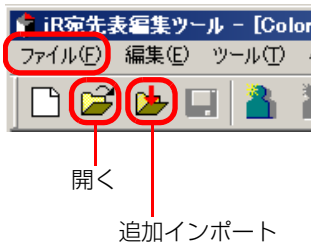


## 【CSV ファイルのフォーマットについて】

CSV ファイルのフォーマットは以下のとおりとします。

- ・データとデータの区切りはカンマ "," で区切ります。
- ・1つの宛先データは1行に記述します。
- ・1行あたりの最大読み取り可能項目数は先頭から20項目めまでとします。("," で区切られた値の数)
- ・1行あたりの最大読み取りデータのサイズは先頭から1000バイト(," を含む)までとします。
- ・項目はウィザードで対応付けを行うので、順番は問いません。
- ・グループの宛先として取り込むことはできません。

## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み



## 1. ファイルを開く

取り込みたいCSV ファイルを選択します。

## 新規に宛先を追加する場合：

[ファイル] → [開く] または、ツールバーの [開く] を選択します。

→ [開く] 選択時：

2. ウィザード 1-a を参照してください。

## 現在編集中の画面に宛先を追加したい場合：

[ファイル] → [追加インポート] または、ツールバーの [追加インポート] を選択します。

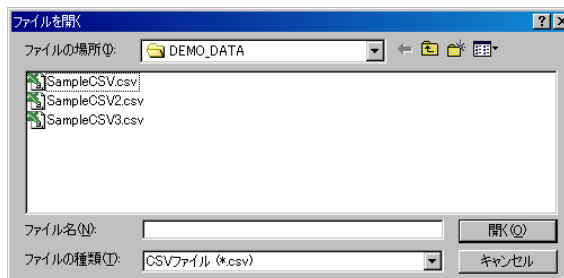
→ [追加インポート] 選択時：

取り込み先が標準の宛先表の場合、2. ウィザード 1 -b を参照してください。

取り込み先がワンタッチ宛先表の場合、3. ウィザード 2 を参照してください。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

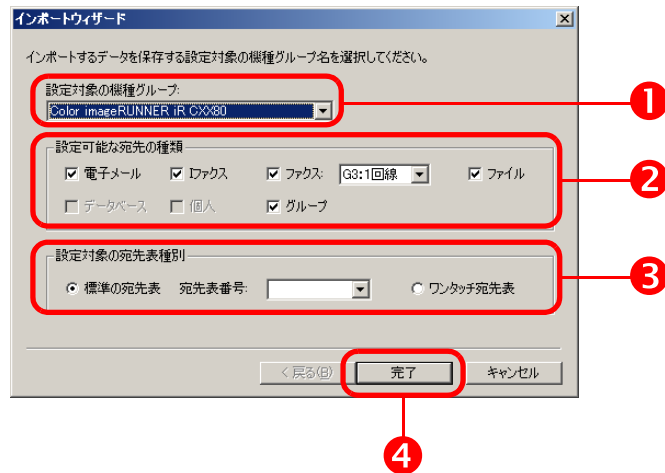
ファイルリストからファイルを選択し、[開く] を押すと、前の処理によって次の画面が表示されます。



## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み

## 2. ウィザード 1-a

ここでは、iR 専用アドレスブックファイルの宛先表を作成するために、その対象となる機種を選択し、宛先の種類、宛先表の種別を選択します。



## ① 【設定対象の機種】

宛先を保存する機種を選択します。

## ② 【設定可能な宛先の種類】

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

## ③ 【設定対象の宛先表の種別】

選択された機種によって、選択できる [宛先表の種別] が変わります。対応していない宛先表の種別は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

## ④ 【次へ】

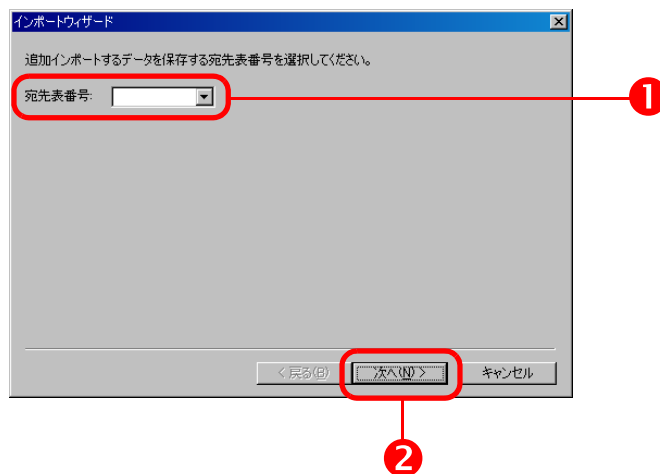
[設定可能な宛先の種類] が CSV ファイルで取り込み可能な項目が1つ以上選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み

**2. ウィザード 1-b**

ここでは、標準の宛先表選択時に追加で設定したい宛先表番号を選択します。

ここで選択した宛先表番号に、取込んだ CSV のデータを追加します。

**① 【宛先表番号】**

データを追加で保存したい宛先表番号を選択します。

**② 【次へ】**

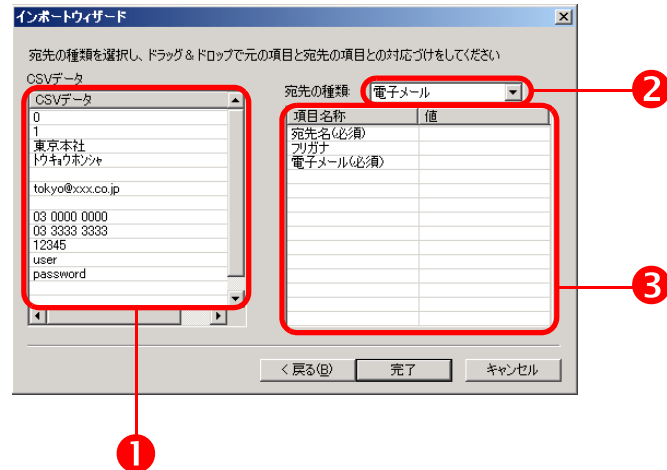
宛先表番号が選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み

## 3. ウィザード 2

ウィザード 1 で [次へ] を押された場合、または、[追加インポート] 選択時で、取り込み先が [ワンタッチ宛先表] の場合でファイルを選択すると、以下の画面が表示されます。

ここでは、取り込みたい CSV データを宛先の種類を選択したのちに、項目ごとにドラッグアンドドロップで対応付けします。



## ① CSV データ表示リスト

読み込んだ CSV ファイルの一行目のデータを表示します。

## ② [宛先の種類] コンボボックス

前のウィザードで選択した [設定可能な宛先の種類] を表示します。

## ③ 宛先項目表示リスト

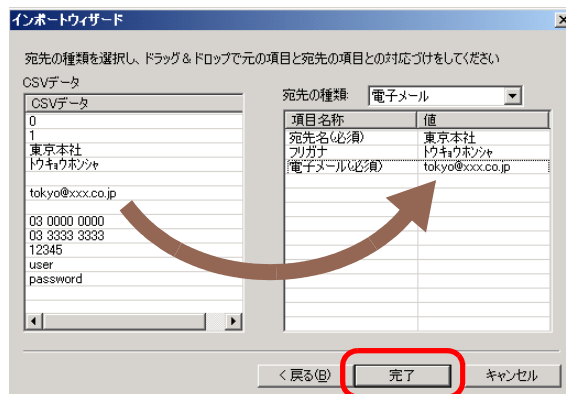
[宛先の種類] で選択された宛先の項目を表示します。

[宛先の種類] によって表示される宛先の項目が変わります。

## データの取り込み ……CSV ファイルの取り込み

**【対応付け】**

ドラッグアンドドロップで CSV データを下のように対応付けします。

**宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを変更したい場合**

- ・ 変更したい値をドラッグアンドドロップします。
- ・ CSV データから再度、対応付けしなおします。

**宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを削除したい場合**

- ・ 削除したい値の上で Delete キーを押します。
- ・ 削除したい項目をドロップして、枠の外へ出します。

**④ 【完了】**

必須項目に対応付けがされていない場合、エラーメッセージが表示されます。

エラーがない場合は、データの取り込み処理を実行し、取り込み結果を表示します。

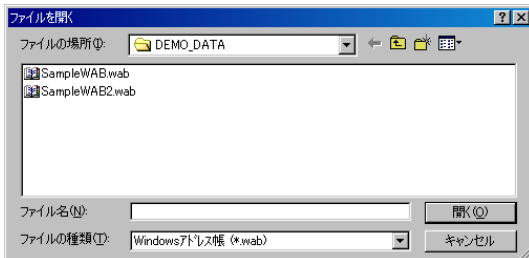
(2.6 以降を参照してください。)

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

## 2.5 Windows アドレス帳ファイルの取り込み

Windows アドレス帳ファイルのデータ取り込み処理の流れ

## 1. ファイルを開く



[追加インポート]

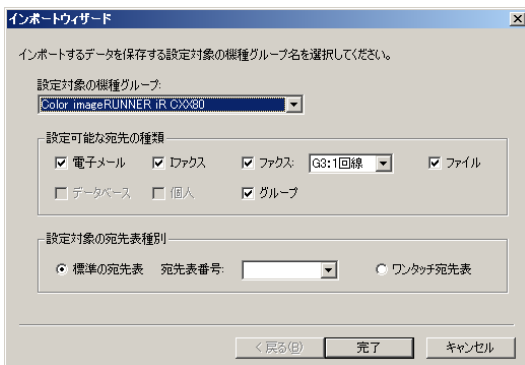
[開く]

[追加インポート]

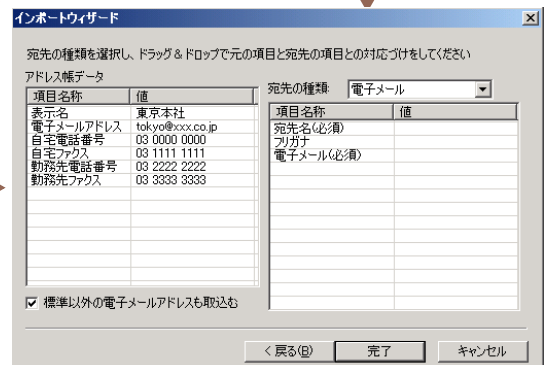
## 2. ウィザード 1-b



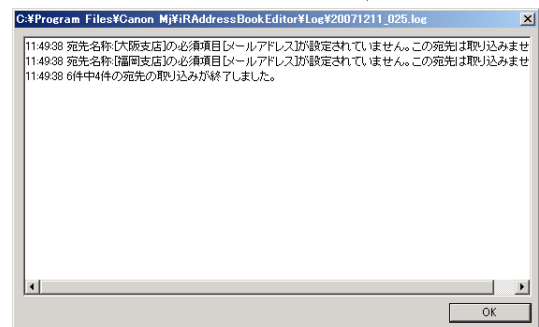
## 2. ウィザード 1-a



## 3. ウィザード 2



## 取り込み結果ダイアログ



## 【Windows アドレス帳ファイルについて】

Windows アドレス帳ファイルとは、OutlookExpressなどで利用されるアドレス帳のことです。拡張子は、.wab になります。

アドレス帳の取り込みは連絡先のみです。(アドレス帳内のグループは対象外)

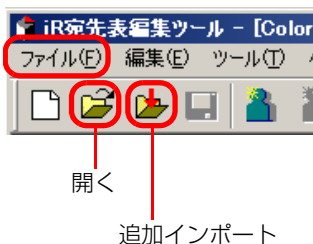
取り込み先の宛先の種類は [電子メール]、[1 ファクス]、[2 ファクス] のみです。

連絡先の項目は以下の項目になります。

・表示名/電子メールアドレス/自宅電話番号/自宅ファクス/勤務先電話番号/勤務先ファクス

電子メールアドレスが1つの連絡先に複数設定されている場合、電子メールアドレス以外は同一の宛先を作成します。(最大 10 件) 詳細は、【標準以外の電子メールアドレス】をご参照ください。

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み



## 1. ファイルを開く

**新規に宛先を作成する場合：**

[ファイル] → [開く] または、ツールバーの [開く] を選択します。

→ [開く] 選択時：

**2.** ウィザード 1-a を参照してください。

**現在編集集中の画面に宛先を追加したい場合：**

[ファイル] → [追加インポート] または、ツールバーの [追加インポート] を選択します。

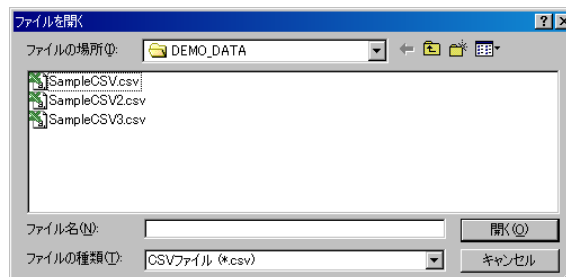
→ [追加インポート] 選択時：

取り込み先が標準の宛先表の場合、**2.** ウィザード 1 -b を参照してください。

取り込み先がワンタッチ宛先表の場合、**3.** ウィザード 2 を参照してください。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

ファイルリストからファイルを選択し、[開く] を押すと、前の処理によって次の画面が表示されます。

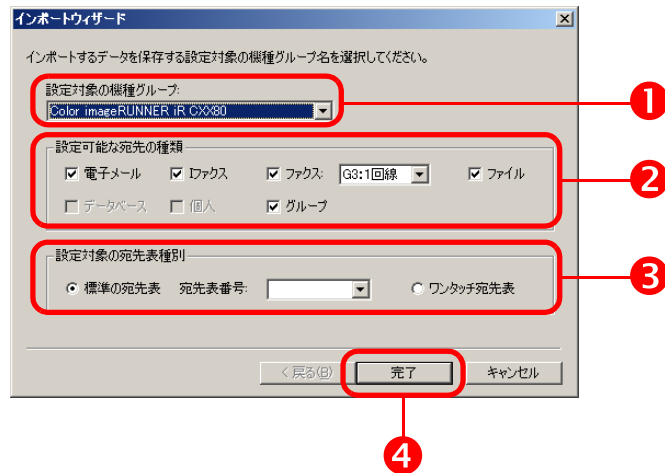




## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

## 2. ウィザード 1-a

ここでは、iR 専用アドレスブックファイルの宛先表を作成するために、その対象となる機種を選択し、宛先の種類、宛先表の種別を選択します。



## ① 【設定対象の機種】

宛先を保存する機種を選択します。

## ② 【設定可能な宛先の種類】

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

## ③ 【設定対象の宛先表の種別】

選択された機種によって、選択できる [宛先表の種別] が変わります。対応していない宛先表の種別は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

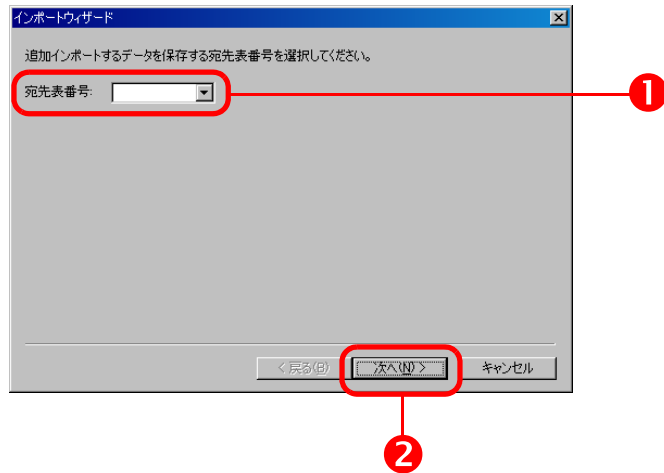
## ④ 【次へ】

[設定可能な宛先の種類] が Windows アドレス帳ファイルで取り込み可能な項目が1つ以上選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

**2. ウィザード 1-b**

ここでは、標準の宛先表選択時に追加で設定したい宛先表番号を選択します。ここで選択した宛先表番号に、取り込んだ Windows アドレス帳ファイルのデータを追加します。

**① 【宛先表番号】**

データを追加で保存したい宛先表番号を選択します。

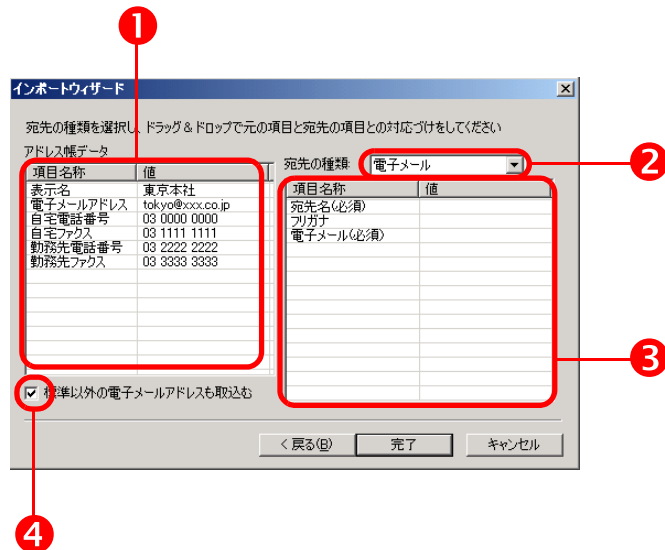
**② 【次へ】**

宛先表番号が選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

## 3. ウィザード 2

ここでは、取り込みたい Windows アドレス帳ファイルのデータを、宛先の種類を選択したのちに、項目ごとにドラッグアンドドロップで対応付けします。



## ① アドレス帳データ

読み込んだ Windows アドレス帳ファイルの 1 つめのデータを表示します。

## ② 宛先の種類コンボボックス

前のウィザードで選択した [設定可能な宛先の種類] を表示します。

## ③ 宛先項目表示リスト

[宛先の種類] で選択された宛先の項目を表示します。  
[宛先の種類] によって表示される宛先の項目が変わります。

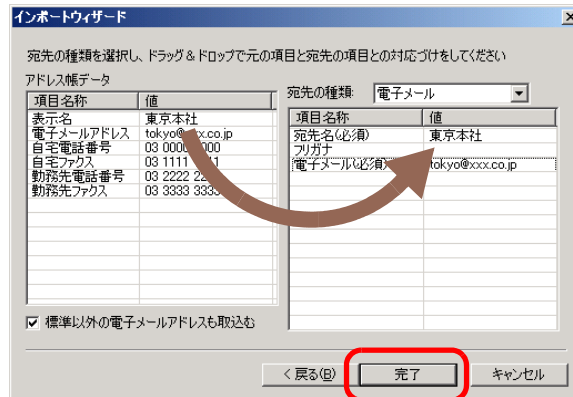
## ④ 標準以外の電子メールアドレス取り込み

標準以外の電子メールアドレスも取り込むかどうか選択します。  
Windows アドレス帳ファイルの 1 つの連絡先に複数の電子メールアドレスが設定されている場合、電子メール以外は同一の複数の宛先を作成します。  
詳しくは、後述の【標準以外の電子メールアドレス】をご参照ください。

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

**【対応付け】**

ドラッグアンドドロップでアドレス帳データを下のように対応付けします。



5

**宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを変更したい場合**

- ・ 変更したい値をドラッグアンドドロップします。
- ・ アドレス帳データから再度、対応付けしなおします。

**宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを削除したい場合**

- ・ 削除したい値の上で Delete キーを押します。
- ・ 削除したい項目をドロップして、枠の外へ出します。

**5 【完了】**

必須項目に対応付けがされていない場合、エラーメッセージが表示されます。

エラーがない場合は、データの取り込み処理を実行し、取り込み結果を表示します。

(2.6 以降を参照してください。)

## データの取り込み ……Windows アドレス帳ファイルの取り込み

## 【標準以外の電子メールアドレス】

「標準以外の電子メールアドレス」とは、1つの連絡先に以下のように電子メールアドレスの一覧に複数の電子メールアドレスある場合、標準の電子メールではないものを示します。

電子メールアドレス一覧

[標準以外の電子メールアドレスも取り込む] のチェックボックスにチェックをしてデータを取り込んだ場合、以下のように、電子メールアドレス以外は同一の複数の宛先を作成します。

種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	アドレス
電子メール	宛先表2	キヤノン 株式会社		canon-sales@canon-sales.co.jp
電子メール	宛先表2	キヤノン 株式会社		canon-sales2@canon-sales.co.jp
電子メール	宛先表2	キヤノン 株式会社		canon-sales3@canon-sales.co.jp
電子メール	宛先表1	東京本社		tokyo@xxx.co.jp
電子メール	宛先表1	東京本社		tokyo2@xxx.co.jp
電子メール	宛先表1	東京本社		tokyo3@xxx.co.jp

データの取り込み ……読み込み時のエラーチェック内容

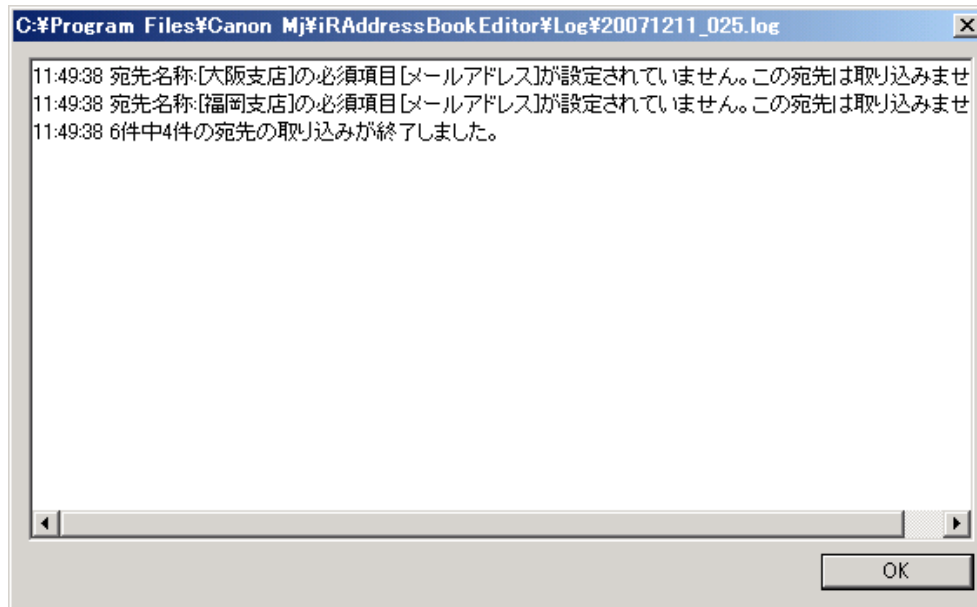
## 2.6 読み込み時のエラーチェック内容

- 宛先件数チェック
- 必須項目チェック
- 項目ごとの文字最大長チェック
- 項目ごとの文字種別チェック
- エラー項目が 100 を超える場合は、そこで取り込みを終了します。  
(文字最大長チェックは 1 エラーと数えません。)

データの取り込み ……結果ダイアログ表示

## 2.7 結果ダイアログ表示

取り込み後、結果をログファイルに記述し、以下のようなダイアログボックスが表示されます。



## データの取り込み ……ログファイル

## 2.8 ログファイル

上記のインポート結果はログとしてログ用フォルダ内で以下の形式で保存されます。

ファイル名：yyyymmdd\_XXX.log

(実行時の yyyy: 年、mm: 月、dd: 日 XXX は 1 以上の数字 001-999)

XXX 部分は同一日付で存在する最後の数字に 1 足したものが作成されます。

999 を超える場合、001 以降に上書きされます。

30 日経過したログファイルはアプリケーション起動時に削除を行います。

例) 2007/07/31 に起動した場合、2006/07/01 以前に作成されたログファイルは削除します。

保存日数は [標準その他設定] で変更可能です。(3.4.3 参照)



# 3

## 宛先データ 追加・編集・削除

## 宛先データ 追加・編集・削除

- [ワンタッチ宛先表] と [標準の宛先表データ] を同時に作成することはできません。
- 全宛先を表示する編集画面 1 は画面上から直接宛先を作成することはできません。(編集のみ可能)
- 全宛先を表示する編集画面 1 と 1 つの種類の宛先のみを表示する編集画面 2 の切り替えはツールバー上の宛先種類コンボボックスを選択することで表示が切り替わります。
- 編集画面 2 は表示される列名が増減し、画面上から直接宛先を作成可能です。
- 宛先追加時の宛先表番号 (ワンタッチ番号) のデフォルトに関して
  - ・ 標準宛先表の場合、1 行上の宛先と同一の宛先表番号が設定されます。
  - ・ ワンタッチ宛先表の場合、1 つ上の宛先の次のワンタッチ番号が選択されます。

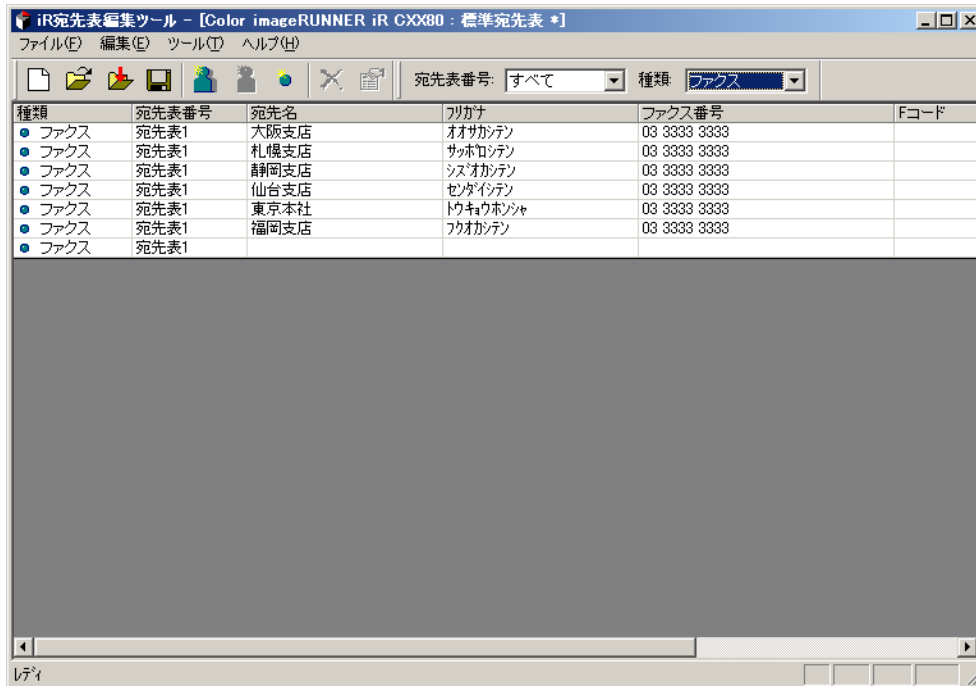
## 編集画面 1

種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	アドレス
● 電子メール	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	osaka@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	sapporo@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	sizuoka@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	仙台支店	センダイシテン	sendai@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	tokyo@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	福岡支店	フクオカシテン	fukuoka@xxx.co.jp
● ファクス	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	仙台支店	センダイシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	福岡支店	フクオカシテン	03 3333 3333

## 宛先データ 追加・編集・削除

## 編集画面 2

宛先ツールバーの宛先の種類コンボボックスで「ファクス」を選択した状態



## 宛先データ 追加・編集・削除 ……追加・編集

## 3.1 追加・編集

編集画面1、または2の状態では [宛先ツールバー] の [種類] コンボボックスで特定の宛先を選択すると、表示される列が増減します。(図1、2参照) また、宛先の新規追加行が表示されます。(図2参照)

図1のように [種類] が [すべて] の場合には画面上から直接、新規追加はできません。

×モ) グループを選択しても宛先の新規追加行は表示されません。グループの宛先を追加する場合には [標準ツールバー] から追加動作を行ってください。

図1

種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	アドレス
● 電子メール	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	osaka@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	sapporo@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	sizuoka@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	仙台支店	セウダイシテン	sendai@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	tokyo@xxx.co.jp
● 電子メール	宛先表1	福岡支店	フクオカシテン	fukuoka@xxx.co.jp
● ファクス	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	仙台支店	セウダイシテン	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	03 3333 3333
● ファクス	宛先表1	福岡支店	フクオカシテン	03 3333 3333

図2

種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	ファクス番号	Fコード
● ファクス	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1	仙台支店	セウダイシテン	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1	福岡支店	フクオカシテン	03 3333 3333	
● ファクス	宛先表1				

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……追加・編集

編集したい項目をダブルクリックするか、セルをクリックして選択された状態で Enter キーを押すと編集モードに移行します。

編集後、Enter キーを押すと内容が確定し、次のセルに移動します。

セルの内容を直接編集できるのは、以下の項目です。

共通項目	電子メール	Iファクス	ファクス	ファイル
宛先名	電子メールアドレス (必須)	Iファクスアドレス (必須)	ファクス番号 (必須)	ホスト名 (必須)
フリガナ		定型文1 *	Fコード	パス (必須)
ワンタッチ名称 (ワンタッチ 宛先表の場合)		定型文2 *	パスワード	プロトコル (選択) *
			スピード (選択) *	ユーザ名 (必須)
			国際送信 (選択) *	パスワード*

メモ) 種類列、宛先表 / ワンタッチ番号列と \* の列はセルの切り取り / コピー / 貼り付け動作は選択できません。

各宛先の詳細ダイアログボックス表示させると、さらに詳細な設定をすることができます。  
各宛先の詳細ダイアログボックスについては、3.2「各宛先 詳細ダイアログボックス」で説明します。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## 3.2 各宛先 詳細ダイアログボックス

各詳細画面は、編集したい場合は、メイン画面の [種類] をダブルクリックするか、編集したい行を選択した状態でツールバーの [詳細] を押すと表示できます。  
新規で追加したい場合は、[ツール] → [新規宛先] またはツールバーの [新規宛先] を押すと表示されます。

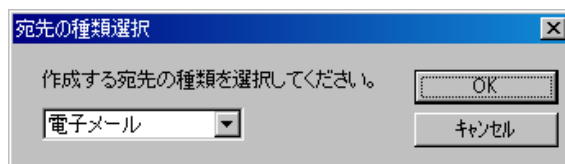


種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	アドレス
電子メール	宛先表1	大阪支店	オオサカシテン	osaka@xxx.co.jp
電子メール	宛先表1	札幌支店	サッポロシテン	sapporo@xxx.co.jp
電子メール	宛先表1	静岡支店	シズオカシテン	sizuoka@xxx.co.jp

ダブルクリック

#### [新規宛先] を選択した場合：

以下のダイアログボックスが表示され、宛先の種類を選択したのちに各宛先の詳細ダイアログボックスが表示されます。



[開く] または [新規作成] で選択された宛先の種類をコンボボックスに設定します。  
(グループは設定できません)

[OK] を押すと選択された宛先の種類の詳細ダイアログボックスが表示されます。

メモ) 編集画面 1、2 ともにメニュー、ツールバー上からは宛先の新規作成が可能です。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## [電子メール]

電子メールの宛先の編集画面になります。

The image shows two instances of the '電子メール' (Email) dialog box. The left instance is for '大阪支店' (Osaka Branch) and has four numbered callouts: 1 points to the '宛先名(全角入力可):' field containing '大阪支店'; 2 points to the 'フリガナ(半角入力):' field containing 'オオサカデン'; 3 points to the '電子メールアドレス:' field containing 'osaka@xxx.co.jp'; and 4 points to the 'アクセス番号:' field containing '0'. The right instance is also for '大阪支店' but has five numbered callouts: 1 points to the '宛先名' field; 2 points to the 'フリガナ' field; 3 points to the 'ワンタッチ名称(全角入力可):' field which is empty; and 5 points to the '電子メールアドレス:' field containing 'osaka@xxxx.co.jp'. Both dialog boxes have 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

**① 宛先名**

宛先名を入力します。必須項目になります。

**② フリガナ**

フリガナを入力します。

**③ 電子メールアドレス**

電子メールアドレスを入力します。必須項目になります。

**④ アクセス番号**

アクセス番号を入力します。

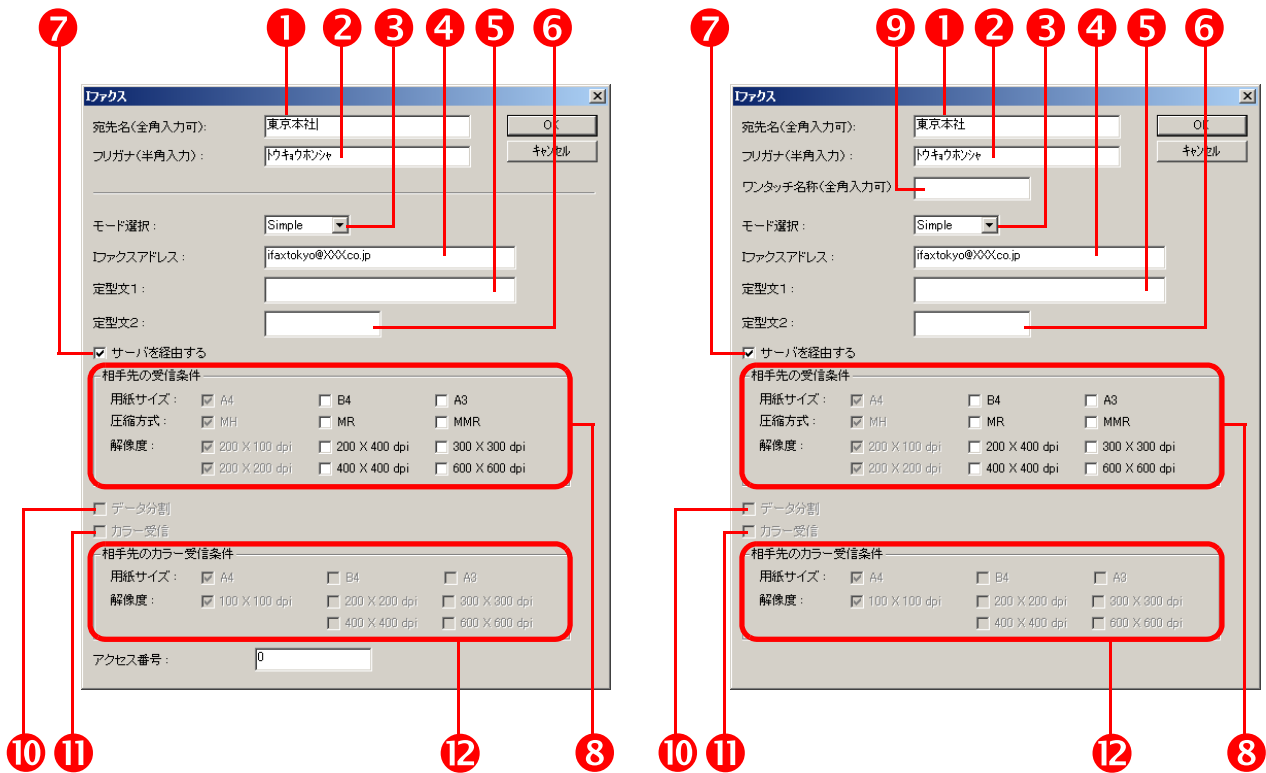
**⑤ ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## [I ファクス]

Iファクスの宛先の編集画面になります。

**① 宛先名**

宛先名を入力します。必須項目になります。

**② フリガナ**

フリガナを入力します。

**③ モード選択**

モード (Simple,Full) を選択します。機種によっては非表示になります。

**④ Iファクスアドレス**

Iファクスアドレスを入力します。必須項目になります。

**⑤ 定型文 1**

定型文 1 を入力します。機種によっては非表示になります。

**⑥ 定型文 2**

定型文 2 を入力します。機種によっては非表示になります。

**⑦ サーバを経由**

サーバを経由するか、選択します。機種によっては非表示になります。



**宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス****⑧ 相手先の受信条件**

用紙サイズ、圧縮方式、解像度を選択します。機種によっては非表示になります。

**⑨ ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

**⑩ データ分割**

データを分割するか、選択します。機種によっては非表示になります。

**⑪ カラー受信**

カラー受信を行うか、選択します。機種によっては非表示になります。

**⑫ 相手先のカラー受信条件**

用紙サイズ、解像度を選択します。カラー受信を行わない場合は非表示になります。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## 【ファクス】

ファクスの宛先の編集画面になります。

The image shows two versions of the 'Fax' dialog box. The left version is for editing an existing entry, and the right version is for adding a new entry. Both versions have the following fields:

- 宛先名(全角入力可): 東京本社 (1)
- フリガナ(半角入力): トウキョウホシヤ (2)
- ファクス番号: 03 3333 3333 (3)
- Fコード: (4)
- パスワード: (5)
- 送信スタートスピード: 33,600bps (6)
- 国際送信: 国内送信 (6)
- ECM送信: する (6)
- アクセス番号: 0 (7)

The right version also includes:

- ワンタッチ名称(全角入力可): (8)

**① 宛先名**

宛先名を入力します。必須項目になります。

**② フリガナ**

フリガナを入力します。

**③ ファクス番号**

ファクス番号を入力します。必須項目になります。

**④ Fコード**

Fコードを入力します。機種によっては非表示になります。

**⑤ パスワード**

パスワードを入力します。機種によっては非表示になります。

**⑥ その他設定**

送信スタートスピード、国際送信、ECM送信、回線、通信モードを選択します。

**⑦ アクセス番号**

アクセス番号を入力します。

**⑧ ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## 【ファイル】

ファイルの宛先の編集画面になります。

**① 宛先名**

宛先名を入力します。必須項目になります。

**② フリガナ**

フリガナを入力します。

**③ プロトコル**

プロトコルを選択します。機種によっては固定の場合があります。

内容は [FTP]、[Windows(SMB)]、[NetWare(IPX)]、[WebDAV] になります。

**④ ホスト名**

ホスト名を入力します。必須項目になります。\*

**⑤ パス**

パスを入力します。必須項目になります。

**⑥ ユーザ名**

ユーザ名を入力します。必須項目になります。

**⑦ パスワード**

パスワードを入力します。

**⑧ アクセス番号**

アクセス番号を入力します。

**⑨ ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

\* [プロトコル] を [Windows(SMB)] にした場合、[ホスト名] は IP アドレスの形式か、英字で始まる名称にしてください。

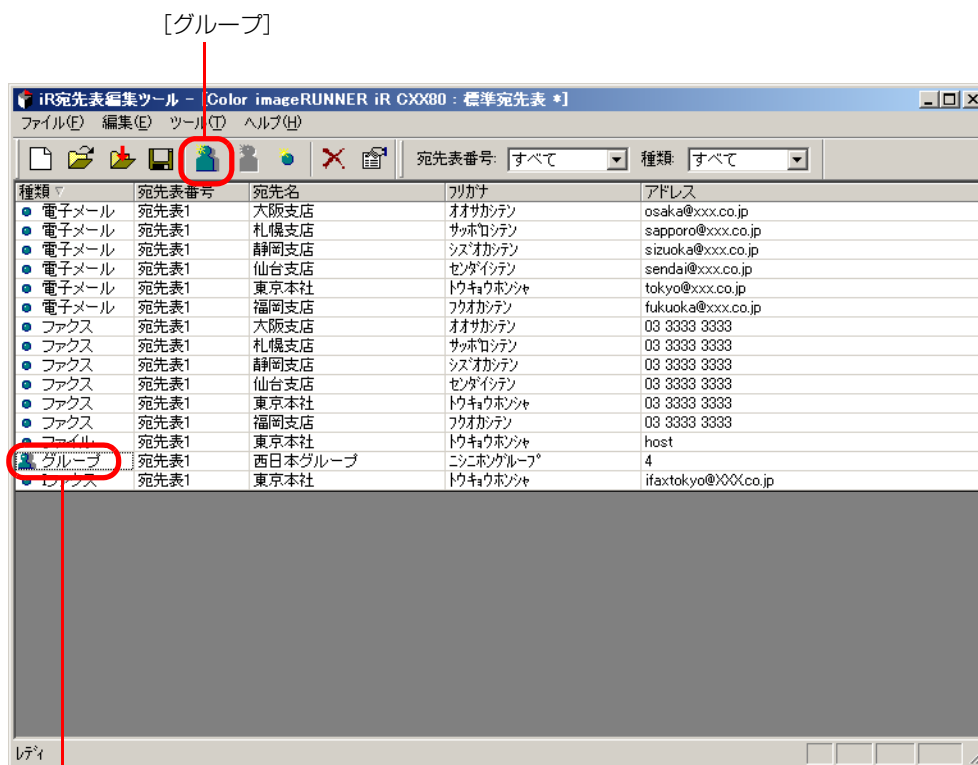
## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## グループの追加・編集

## [グループ宛先]

グループ宛先とは、すでに登録されている各宛先を1つの宛先として登録する機能です。電子メールや1ファクス、ファイルなどグループ宛先で登録する各宛先を登録してから、グループ宛先の登録を行ってください。(最大登録件数は、機種によって異なります。)

以下のような編集画面の状態では、グループの追加・編集が可能になります。

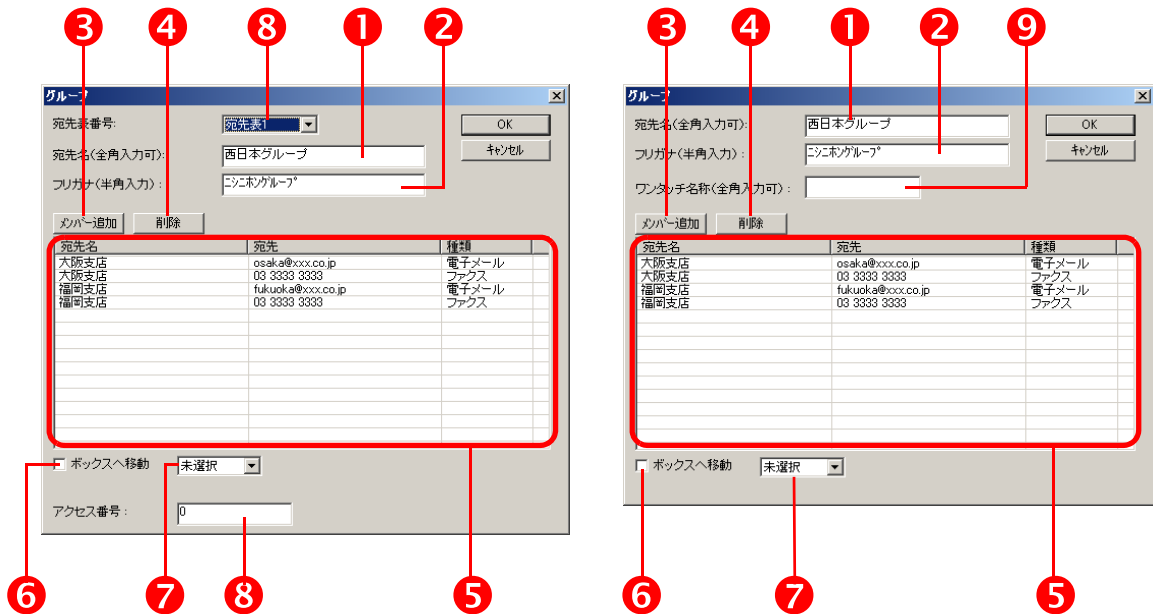


ダブルクリック

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

### 【グループ】

編集画面の [種類] で [グループ] をダブルクリックする、[ツール] → [新規グループ] またはツールバーの [新規グループ] を選択すると以下のダイアログボックスが表示されます。



#### ① 宛先名

グループの宛先名を入力します。

#### ② フリガナ

フリガナを入力します。

#### ③ メンバー追加

[宛先一覧] ダイアログボックスが表示されます。

#### ④ 削除

グループメンバー一覧で選択された宛先をグループから削除します。

#### ⑤ グループメンバー一覧

[宛先一覧] ダイアログボックスで選択された宛先を表示します。

#### ⑥ ボックス番号チェックボックス

有効な機種の場合、チェックボックスを表示します。

#### ⑦ 宛先表番号コンボボックス

標準の宛先表編集時のみ表示されます。

作成する宛先表をコンボボックスで指定します。(宛先表 1～宛先表 10)

#### ⑧ アクセス番号

標準の宛先の場合でアクセス番号に対応する場合のみ表示します。

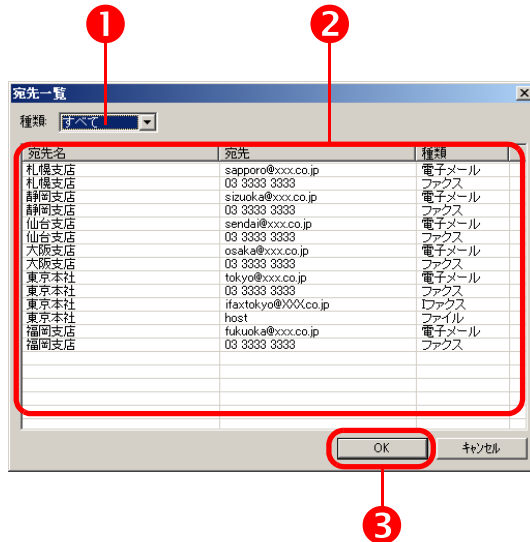
#### ⑨ ワンタッチ名称

ワンタッチ名称を入力します。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……各宛先 詳細ダイアログボックス

## 【宛先一覧】

グループダイアログボックスの [メンバー追加] が押された時に、起動されます。  
作成しているグループ宛先一覧と同一の宛先表番号の宛先データのみを記述します。



## ① 種類

宛先の種類を選択できます。(デフォルトは [すべて] です。)

## ② 宛先表示リスト

選択された宛先種別の宛先のみを表示します。  
複数の宛先が選択可能です。

## ③ OK

選択された宛先をメンバーとして追加します。

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……保存

## 3.3 保存

標準の宛先表の場合、編集中の宛先表番号が複数ある場合、宛先表番号の数だけ、保存処理が実行されます。

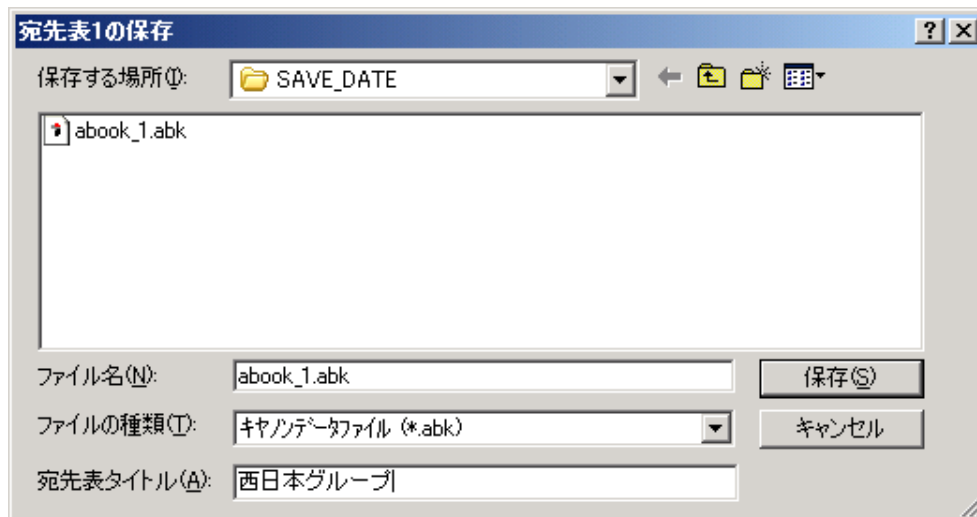
## 【上書き保存】

iR 専用アドレスブックファイルを [開く] 選択時には、[開く] で選択した宛先表番号の宛先データは同一名称の iR 専用アドレスブックファイルに上書き保存されます。

CSV ファイル、Windows アドレス帳ファイルを [開く] 選択時には、[名前を付けて保存] の処理になります。

## 【名前を付けて保存】

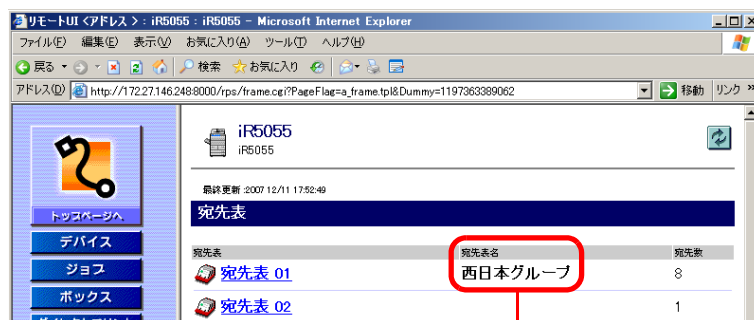
以下のようなダイアログを表示して、iR 専用アドレスブックファイルを作成します。編集中の宛先表番号の数だけ、繰り返されます。



## 【宛先表タイトル】

標準の宛先表の保存時には、[宛先表タイトル] が表示されます。

[宛先表タイトル] とは、iR のリモート UI で表示される宛先表名になります。(以下の図を参照してください。) 但し、機種によっては非表示になります。



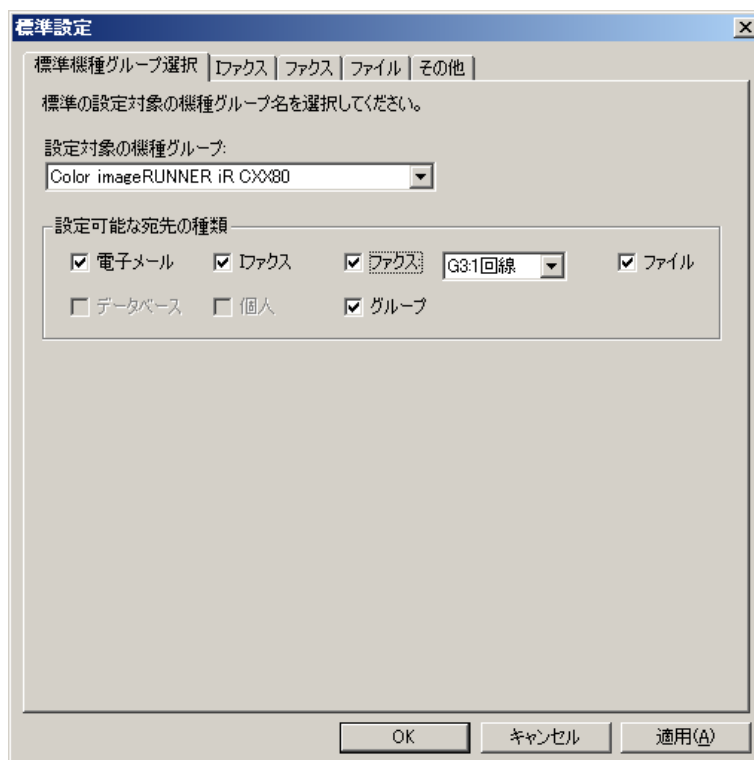
宛先表名

## 3.4 標準設定

[ツール] → [標準設定] を選択すると以下の画面が表示されます。  
ここでは、機種へのデフォルトの設定、各宛先のデフォルトの設定が可能になります。

### 3.4.1 [標準機種選択]

[新規作成]、[開く] の動作を行った場合のデフォルトの機種、宛先情報を指定します。  
画面のデフォルトは、保存機種選択の画面と同一のものととなります。





## 宛先データ 追加・編集・削除 ……標準設定

## 3.4.2 宛先のデフォルト設定

宛先の [新規作成] を行った場合のデフォルトを設定します。  
(宛先名、フリガナ、ワンタッチ名称以外)

【標準Iファクス設定】

標準設定

標準機種グループ選択 | ファクス | ファクス | ファイル | その他 |

モード選択: Simple

ファクスアドレス:

定型文1:

定型文2:

サーバを経由する

相手先の受信条件

用紙サイズ:  A4  B4  A3

圧縮方式:  JMH  MR  MMR

解像度:  200 X 100 dpi  200 X 400 dpi  300 X 300 dpi

200 X 200 dpi  400 X 400 dpi  600 X 600 dpi

データ分割

カラー送信

相手先のカラー受信条件

用紙サイズ:  A4  B4  A3

解像度:  100 X 100 dpi  200 X 200 dpi  300 X 300 dpi

400 X 400 dpi  600 X 600 dpi

OK キャンセル 適用(A)

【標準ファクス設定】

標準設定

標準機種グループ選択 | ファクス | ファクス | ファイル | その他 |

ファクス番号:

Fコード:

パスワード:

送信スタートスピード: 33,600bps

国際送信: 国内送信

EOM送信:  する  しない

回線選択: 回線1

通信モード: G3のみ

OK キャンセル 適用(A)

【標準ファイル設定】

標準設定

標準機種グループ選択 | ファクス | ファクス | ファイル | その他 |

プロトコル: FTP

ホスト名:

パス:

ユーザ名:

パスワード:

OK キャンセル 適用(A)

## 宛先データ 追加・編集・削除 ……標準設定

## 3.4.3 [標準その他設定]

電子メールアドレスのデフォルトを設定します。

標準設定

標準機種グループ選択 | Iファクス | ファクス | ファイル | その他

電子メール

電子メールアドレス:

データ分割

データベース

ホスト名:

フォルダID:

FU名:

ログファイルの保存期間

日経過したログファイルは起動時に削除する

OK キャンセル 適用(A)

ログファイルの保存期間を設定します。  
(デフォルトは 30 日間です。)

## 3.5 検索と置換

### 3.5.1 検索

[ツール] → [検索] を選択すると以下の検索ダイアログボックスが表示されます。

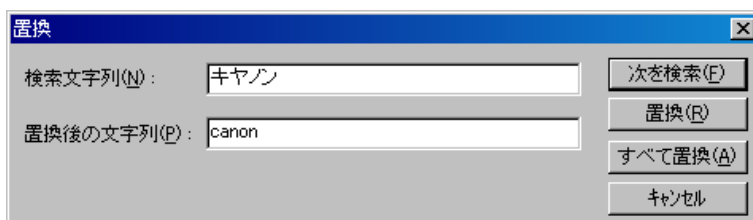


#### [次を検索]

「検索文字列」に設定されている文字列を編集画面で表示されている項目の最上位から検索します。検索結果が見つかった場合はその個所を選択状態に設定します。検索結果が複数ある場合は、再度、ボタンを選択することで次の検索結果を選択状態に設定します。

### 3.5.2 置換

[ツール] → [置換] を選択すると以下の置換ダイアログボックス表示されます。



#### [次を検索]

「検索文字列」に設定されている文字列を編集画面で表示されている項目の最上位から検索します。検索結果が見つかった場合はその個所を選択状態に設定します。検索結果が複数ある場合は、再度、ボタンを選択することで次の検索結果を選択状態に設定します。

#### [置換]

検索された文字列を「置換後の文字列」に設定されている文字列に置換します。

#### [すべて置換]

「検索文字列」に設定されている文字列すべてを「置換後の文字列」に設定されている文字列に置換します。